

# 企業力強化視察・研修（台湾屏東県・台北市）報告書

今年度の視察・研修は、11月30日（土）から12月3日（火）にかけて台湾において実施しました。参加者は18名で、ご夫婦や親子で参加していただくなど親睦を図ることができました。

また、今回は、今年1月に鹿児島県が「青少年や芸術・文化、観光、経済で交流を促進する包括協定」を結んだ屏東県での建築・民族文化との交流や北投の木造図書館、台北の九份などを視察しました。

参加者の皆様からも好評で、「素晴らしい視察研修でした」とのお声をいただきました。

## 日程表

日程	スケジュール	宿泊地等
1日目 (11/30) 土	12:05 鹿児島空港 → → CI 119 中華航空機 → → 13:35 桃園国際空港 → → 台湾新幹線 → → 15:34 高雄左営駅 → → 17:30 高雄市	夕食： 龍興レストラン 散策： 六合夜市 宿泊： 漢来大飯店
2日目 (12/1) 日	8:00 ホテル → → 蓮池潭 → → 旧高雄駅 → → 屏東勝利星村創意生活園區 (屏東県) → → 高雄左営駅 → → 台北市 台湾新幹線	昼食： 高雄美濃客家菜 夕食： 打狗霸 散策： 台北101(夜景) 宿泊： 凱撒大飯店
3日目 (12/2) 月	9:00 ホテル → → 北投図書館 → → 霞海城隍廟 → → 迪化街 → → 九份 → → ホテル	昼食： 金品茶楼 夕食： 欣葉レストラン 宿泊： 凱撒大飯店
4日目 (12/3) 火	5:00 ホテル → → 8:15 桃園国際空港 → → CI 118 中華航空機 → → 11:05 鹿児島空港	朝食： 機内食

# 企業力強化視察・研修（台湾屏東県・台北市）報告書

## 視察・研修

今年、鹿児島県と交流協定を締結した台湾屏東県を訪れ、活力あるアジア経済の実情と台北郊外のエコ建築の木造図書館や海産物直売センター等の視察・研修を行い、企業経営等の参考にしました。

～ 鹿児島空港から中華航空機で  
桃園国際空港へ ～

そこから高雄市まで・・・



## 11/30（土）①台湾新幹線

- ・台湾高速鉄道は、日本の新幹線技術の初の海外への輸出事例。
- ・三菱重工業等、日本の7社により、台湾新幹線株式会社を設立。  
(JR 東海、JR 西日本等のスタッフが技術支援)

- ・鉄道車輛も東海道・山陽新幹線の700系改良型で日本の新幹線と殆ど同じに見えるもの。  
(機動性、安定性はやはり日本製、  
デザインは台湾製)



## 12/1（日）①旧高雄駅

- ・旧高雄駅の駅舎は、「帝冠様式」という建築様式で建てられた歴史的な建造物。
- ・当時の近代的な西洋風の建築物の上に日本風の屋根をつけた和洋折衷の建物になる。

- ・「帝冠様式」という建築方法はナショナリズムの台頭とともに誕生した1930年代(昭和10年前後)から一般的に用いられていた建築法で、終戦後はこの建築は事実上消滅しており、日本建築の歴史の中でも貴重な建築物となっている。



# 企業力強化視察・研修（台湾屏東県・台北市）報告書

## 12/1（日）②屏東勝利星村創意生活園區

・日本統治時代に屏東飛行場の宿舎群として建設されたもの。

・宿舎群は第 2 次世界大戦後に国民党政権によって接收、さらに拡大され、大陸から台湾に移り住んだ軍人やその家族が住む「眷村」となった。

・眷村が形成された屏東市勝利新村と崇仁新村などの日本軍官宿舎は 2007 年に屏東県の歴史建築に登録され、2018 年に商業施設に生まれ変わりました。



・眷村を再利用した商業パークといえば、台北 101 近くの「四四南村」が有名ですが、「勝利星村」の規模は大きく「勝利エリア」「成功エリア」「通海エリア」の 3 つのエリアに分かれ、80 ものブランド品や装飾品、カフェなどが林立していて、国内外から多くの観光客が来ていた。



## 12/2（月）①北投図書館

・北投にある台湾初のエコ建築の図書館。（2006 年 11 月開業）

・ここは、豊かな自然に恵まれた北投公園（周辺は北投温泉街）の中にあり、台湾の「エコ建築九大指標候補証書」を獲得した環境に優しい「緑の建築」の図書館です。



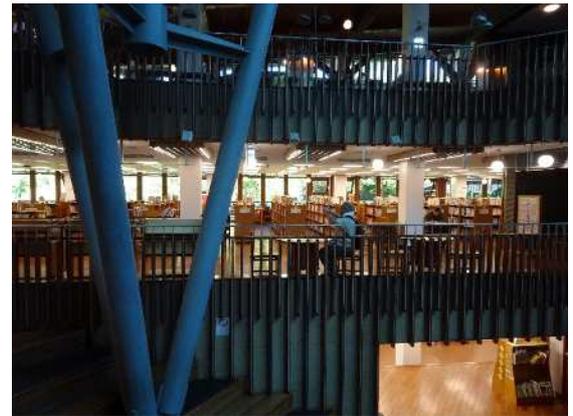
## 企業力強化視察・研修（台湾屏東県・台北市）報告書

・建物全体に床まで届く大きな窓（木製枠）が使われており、自然光をふんだんに取り入れ、建物の内外から見える自然の風景が巧みに生かされています。

・構造的には、木材を主体に鋼材が組み合わされ、強度的、耐久性を考えた工夫が随所に見られ、大きくて背の高いツリーハウスのような親しみやすい外観に圧倒されました。

・また、屋根には太陽光発電パネルが設置され、昼間の日光で電力が貯蔵でき、ベランダの手すりや垂直の木製格子も、室内に入る熱放射を抑え節電にもなるとのこと。

・屋上の芝生は特殊な排水設計になっており、天然の雨水などを貯水して、植物の水遣りやトイレの水にも使えるなど工夫されていました。



### 12/2（月）②霞海城隍廟（迪化街）

・百年以上の歴史を持つ霞海城隍廟は多くの問屋で混雑した迪化街に位置し、縁結びに御利益があるとされている廟ですが、都市の守り神であると同時に、悪人を裁く裁判長のような神様です。そこから転じて、交通安全や仕事運にもご利益があると言われています。

（皆さん、何かに真剣に拝んでおられました。）



## 企業力強化視察・研修（台湾屏東県・台北市）報告書

・また、迪化街は台北で最も歴史ある問屋街の一つ。中でも漢方薬、からすみなどの乾物、そして布の問屋街としては台湾一の規模を誇っている。18世紀末から発展し始め日本統治時代には、商業地区として台湾随一の賑わいを見せたそうです。



・最近では古い建物をリノベーションしたレトロ感あふれるカフェやレストラン、雑貨を並べたショップなども次々と登場。そのほか、竹細工やお線香、灯籠など伝統的な雑貨を売る店も多く、台湾の活力とローカルな日常を、肌で感じることができました。

### 12/2（月）③九份

・九份は金鉱で栄える以前は、クスノキを伐採して樟脳を作る 90 の樟脳の竈があり、10 の竈が一人分（一份）で 9 人分（九份）。これが長い歳月経て「九份」という地名に変わったと言われています。（諸説あり、因みに現地ガイド龍さんの説明は違った）

・ここは、台湾東部の丘陵地で 1890 年に金脈が掘り当てられ、瞬く間に三、四千世帯の巨大都市へと変貌。「アジアの金の都」といわれ、「小上海」、「小香港」の異名さえ取っていた時期もありましたが、ゴールドラッシュ熱が冷めるにつれ、廃れていきました。



・近年は、ここで映画が撮影使用されるようになり、ベネチア国際映画祭でグランプリを受賞や「千と千尋の神隠し」に登場するなど、忘れかけられていた小さな村が再度注目を浴びるようになりました。



## 企業力強化視察・研修（台湾屏東県・台北市）報告書

・また、たくさんの土産物屋、飲食店が並び、多くの観光客が押し寄せたことから、古びた町並み、建物、廃坑は燦々と輝いていたゴールドラッシュの時代を彷彿させ、昔のような活気を取り戻していました。



### 会食の状況

・研修期間中、中華海鮮料理や点心・台湾料理など地域の食文化に触れながら、おいしく楽しく懇親を深めることができました。

